平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月15日

上場会社名　エコナックホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3521　URL　http://www.econach.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 奥村英夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 菅原 勲　TEL 03-5712-2311

定時株主総会開催予定日　平成24年6月28日　有価証券報告書提出予定日　平成24年6月29日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	1,005	10.6	83	540.3	135	89.9	125	94.5
23年3月期	909	11.8	13	―	71	412.3	64	198.7

(注)包括利益　24年3月期　135百万円　(118.0%)　23年3月期　61百万円　(186.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年3月期	1.77	―	4.0	3.2	8.3
23年3月期	0.91	―	2.1	1.9	1.4

(参考) 持分法投資損益　24年3月期　―百万円　23年3月期　―百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	4,454	3,450	72.4	45.33
23年3月期	4,079	3,321	75.8	43.47

(参考) 自己資本　24年3月期　3,225百万円　23年3月期　3,093百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	141	△542	252	737
23年3月期	153	△0	32	885

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年3月期	―	―	―	0.00	0.00	0	―	―
24年3月期	―	―	―	0.00	0.00	0	―	―
25年3月期(予想)	―	―	―	0.00	0.00		―	

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	470	0.5	28	△14.3	40	△33.9	40	△21.3	0.56
通期	940	△6.6	50	△40.3	80	△40.8	80	△36.3	1.12

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) ― 、 除外 ―社 (社名) ―

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期	71,177,466 株	23年3月期	71,177,466 株
② 期末自己株式数	24年3月期	31,482 株	23年3月期	30,682 株
③ 期中平均株式数	24年3月期	71,146,238 株	23年3月期	71,147,044 株

(参考)個別業績の概要

平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	284	△25.1	78	70.4	89	60.9	100	75.5
23年3月期	380	△25.4	45	―	55	196.9	57	129.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	1.41	―
23年3月期	0.80	―

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	3,747	3,240	86.5	45.54
23年3月期	3,381	3,133	92.7	44.04

(参考) 自己資本 24年3月期 3,240百万円 23年3月期 3,133百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。なお、詳細は、添付資料の3ページ「次連結会計年度の見通し」を参照してください。

○添付資料の目次

１．経営成績 …… 2
（１）経営成績に関する分析 …… 2
（２）財政状態に関する分析 …… 3
（３）利益配分に関する基本方針及び当期の配当 …… 4
２．企業集団の状況 …… 5
３．経営方針 …… 5
（１）会社の経営の基本方針 …… 5
（２）目標とする経営指標 …… 5
（３）中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題 …… 6
４．連結財務諸表 …… 7
（１）連結貸借対照表 …… 7
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 9
連結損益計算書 …… 9
連結包括利益計算書 …… 10
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 11
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 13
（５）継続企業の前提に関する注記 …… 14
（６）追加情報 …… 14
（７）連結財務諸表に関する注記事項 …… 14
（セグメント情報等） …… 14
（１株当たり情報） …… 17
（重要な後発事象） …… 17
５．個別財務諸表 …… 18
（１）貸借対照表 …… 18
（２）損益計算書 …… 20
（３）株主資本等変動計算書 …… 21

１．経営成績

(1) 経営成績に関する分析

① 当連結会計年度の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から回復基調にあったものの、欧州金融不安や円高の影響等により厳しい環境の下で推移しました。今年に入り円高修正、日経平均株価の上昇等が見られましたが、先行きの不透明な状況が続きました。

このような経営環境の下、当社グループは、各事業において売上拡大を目指し新規取引先及び新規事業の開拓を積極的に行うとともに、合理化を図りコスト削減を行ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は10億５百万円（前連結会計年度比10.6％増）となり、経常利益は１億３千５百万円（前連結会計年度比89.9％増）、当期純利益は１億２千５百万円（前連結会計年度比94.5％増）となり、黒字を拡大することができました。

なお、単体の業績につきましては、当事業年度の売上高は２億８千４百万円（前事業年度比25.1％減）、経常利益は８千９百万円（前事業年度比60.9％増）、当期純利益は１億円（前事業年度比75.5％増）となり、売上高は減少しましたが黒字を拡大することができました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

＜不動産事業＞

当事業におきましては、新宿区の駐車場並びに港区西麻布及び世田谷区代沢のテナントビルの安定した賃料収入を確保することができましたが、前連結会計年度のように販売用不動産を売却するには至りませんでした。

その結果、当事業の売上高は２億７千４百万円（前連結会計年度比26.8％減）となりました。

＜繊維事業＞

子会社の日本レース株式会社が女性向けアウターウェア用刺繍レースの企画販売を中心に営業活動を展開している当事業におきましては、新規取引先の開拓を積極的に進めるとともに、受注生産に徹し企画品在庫量を極力抑えることで合理化を図りました。当連結会計年度においては多色を用いた全面刺繍、太糸使いの刺繍及び定番の綿レースの受注が好調だったものの、生産工場が減少しており全ての注文をフォローできなかったため大きく売り上げを伸ばすことはできませんでした。

その結果、当事業の売上高は６千７百万円（前連結会計年度比0.1％増）となりました。

＜化粧品事業＞

子会社の日本レース株式会社が化粧品及び医薬部外品のＯＥＭ製造・販売を行う当事業では、主にインターネット販売、通信販売、理美容業界、エステサロン、ドラッグストア向けの商品を製造しており、洗顔料、シャンプー、リンス、クリーム、化粧水、美容液、育毛剤、歯磨き等、幅広く取り扱っております。当連結会計年度は、特にドラッグストア向けのヒット商品など新規の受注を獲得し売り上げを拡大することができました。

その結果、当事業の売上高は３億６千２百万円（前連結会計年度比13.1％増）となりました。

＜ゴルフ場事業＞

子会社の伊豆スカイラインカントリー株式会社が伊豆スカイラインカントリー倶楽部を運営する当事業におきましては、コースのメンテナンスに力を入れ各種ゴルフコンペの企画も充実させ集客に努めました。平成23年４月は東日本大震災の影響を受け来場者数が伸び悩みましたが夏以降は堅調に推移しました。しかしながら平成24年１月以降は降雪等によるクローズの影響を受けました。

その結果、当事業の売上高は３億１百万円となりました。なお、当事業は平成22年10月１日より事業を開始したため、前連結会計年度との比較を省略しております。

② 次連結会計年度の見通し

今後の見通しにつきましては、不動産事業におきましては、テナントビル及び駐車場の安定収入を軸に新たな収益ビルの取得等に取り組み、業績拡大に努める所存であります。

繊維事業におきましては、盛夏物の受注獲得に努めるとともに、引き続き秋冬物の受注獲得に向けて力を入れてまいります。

化粧品事業におきましては、営業体制を強化し新規取引先を開拓及び大手取引先との安定的な受注確保を目指す一方で、生産効率及び品質の向上を図ってまいります。

ゴルフ場事業におきましては、伊豆スカイラインカントリー倶楽部において、インターネット予約に力を入れるとともに、コースコンディションのクオリティをさらに高めることで集客に努め、売上及び収益の拡大に注力してまいります。

これにより通期の連結業績予想は、売上高９億４千万円、営業利益５千万円、経常利益８千万円、当期純利益８千万円を見込んでおります。

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき当社において判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

(2) 財政状態に関する分析

当連結会計年度末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は３億７千４百万円増加し44億５千４百万円となりました。これは、主に当社が土地を取得し有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は２億４千５百万円増加し、10億３百万円となりました。これは、主に当社が金融機関から所要資金を調達し長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は１億２千９百万円増加し、34億５千万円となりました。これは、主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況は、当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ１億４千８百万円減少し、当連結会計年度末残高は７億３千７百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、１億４千１百万円（前年同期は１億５千３百万円）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は５億４千２百万円（前年同期は僅少）でありました。これは、主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は２億５千２百万円（前年同期は３千２百万円）となりました。これは、主に長期借入れによる収入によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

	平成21年３月期	平成22年３月期	平成23年３月期	平成24年３月期
自己資本比率（%）	90.4	90.8	75.8	72.4
時価ベースの自己資本比率（%）	77.0	96.0	57.6	68.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	―	―	0.5	2.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	―	―	292.2	30.5

（注）１．各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
２．各指標は、次の算式により計算しております。
(1) 自己資本比率 ： 自己資本／総資産
(2) 時価ベースの自己資本比率 ： 株式時価総額／総資産
※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式を除く）により算出しております。
(3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率： 有利子負債／営業キャッシュ・フロー
※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。
(4) インタレスト・カバレッジ・レシオ ： 営業キャッシュ・フロー／利払い

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

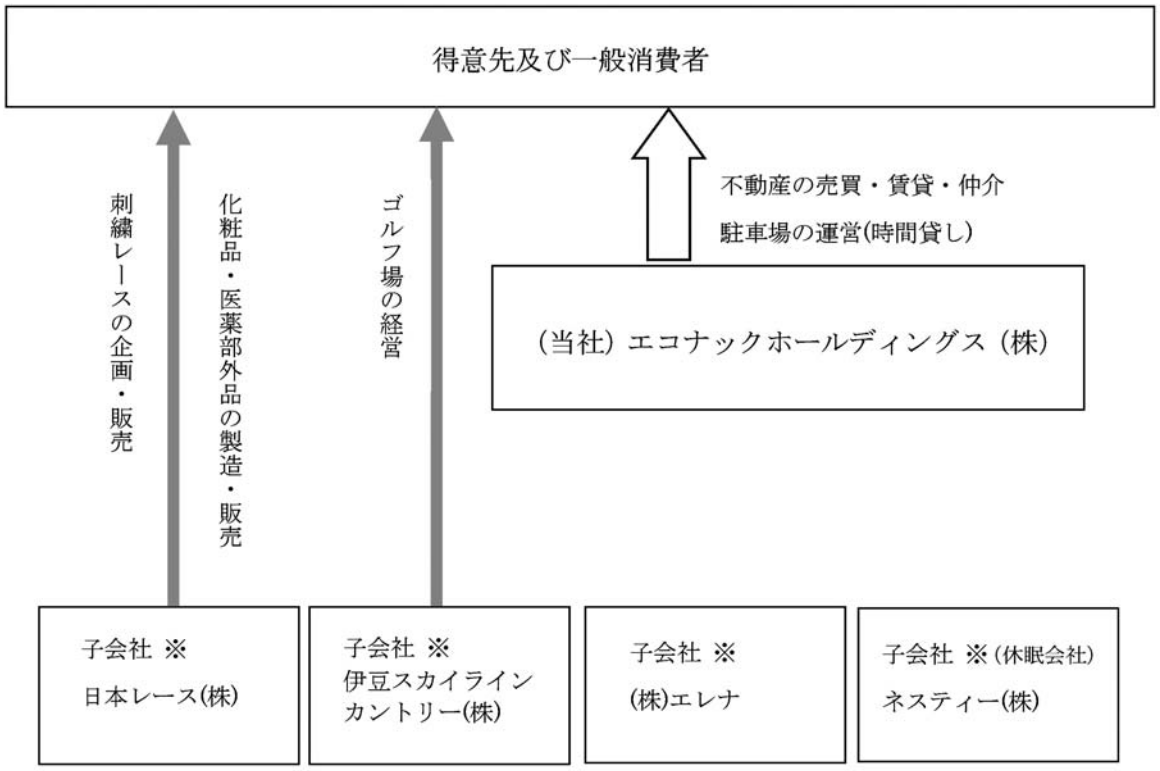
利益配分に関する基本方針につきましては、株主に対する利益還元が会社の重要課題のひとつとして認識いたしております。しかしながら当面は累積損失の解消を優先課題とし、将来の利益配分に関しては、不動産事業、化粧品事業及びゴルフ場事業を中心とした事業展開と企業体質の強化により収益を拡大し、配当可能利益の確保に努めてまいります。

当期の財務状況により、当期の配当金につきましては誠に遺憾ながら無配を継続させていただきます。

２．企業集団の状況

当社の企業集団は、当社、子会社４社で構成され、不動産の売買・賃貸・仲介・駐車場運営、刺繍レースの企画・販売、化粧品・医薬部外品の製造・販売及びゴルフ場の経営を中心として事業活動を行っております。

各事業の系統図は、下記のとおりであります。



※は連結子会社

不動産事業：当社がテナントビルの賃貸、不動産の売買・仲介、駐車場の運営（時間貸し）を行っております。

繊維事業：日本レース㈱が刺繍レースを企画し仕入れて販売しております。

化粧品事業：日本レース㈱が化粧品、医薬部外品等を製造し販売しております。

ゴルフ場事業：伊豆スカイラインカントリー㈱がゴルフ場の経営を行っております。

３．経営方針

⑴会社の経営の基本方針

当社グループは、不動産事業を軸として安定した収益を得るとともに積極的に業容拡大を図ってまいります。また、事業の多角化やM＆Ａを視野に入れ、新たな収益源の確保に努めます。

⑵目標とする経営指標

当社グループは、不動産事業、化粧品事業及びゴルフ場事業を中心とした事業展開と企業体質の強化を図り、売上拡大による営業利益、経常利益、当期純利益の増大を目標としております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題

当社グループといたしましては、中長期的には事業の多角化やM＆Ａを視野に入れ、新たな収益源の確保に努めてまいります。

不動産事業では、不動産の賃貸及び売買により安定的に収益を確保し、当社グループの柱として積極的に業容拡大に努めてまいります。

繊維事業では、ファッショントレンドの情報収集と分析を徹底し魅力あるレース商品の企画を提案するとともに、利益率の向上を重視して営業活動を行ってまいります。

化粧品事業では、多様化する消費者のニーズに対応した商品の企画・開発を行い、ＯＥＭの新規顧客の開拓と安定したリピートオーダーの確保に注力してまいります。

ゴルフ場事業では、各種ゴルフコンペを企画するとともに、コースコンディションの更なる向上及び運営管理の一層の充実を図り、より多くのゴルファーに来場いただく環境作りに徹することで売上及び収益の拡大に努めてまいります。

４．連結財務諸表
（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	885,609	737,050
受取手形及び売掛金	100,914	126,622
商品及び製品	16,067	13,883
仕掛品	2,094	1,450
原材料及び貯蔵品	36,938	38,583
販売用不動産	299,624	303,212
短期貸付金	313,026	298,907
その他	13,905	12,154
貸倒引当金	△9,296	△5,534
流動資産合計	1,658,884	1,526,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	298,001	270,870
機械装置及び運搬具（純額）	32,701	39,370
工具、器具及び備品（純額）	10,618	8,066
コース勘定	362,224	362,224
土地	1,557,184	2,093,321
建設仮勘定	－	1,325
有形固定資産合計	2,260,730	2,775,179
無形固定資産		
のれん	21,064	16,383
借地権	129,024	129,024
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウエア	102	488
無形固定資産合計	152,277	147,982
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	14,113	16,159
貸倒引当金	△7,141	△12,080
投資その他の資産合計	7,571	4,679
固定資産合計	2,420,579	2,927,842
資産合計	4,079,463	4,454,172
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,035	19,564
短期借入金	35,000	－
1年内返済予定の長期借入金	5,004	25,044
未払法人税等	10,374	9,184
未払金	19,180	31,986
その他	48,814	86,070
流動負債合計	140,408	171,850
固定負債		
長期借入金	39,992	308,268
再評価に係る繰延税金負債	53,545	47,037
資産除去債務	2,665	2,726
長期預り金	488,628	445,892
繰延税金負債	－	819
その他	32,993	27,001
固定負債合計	617,825	831,746
負債合計	758,234	1,003,596

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,224,825	3,224,825
利益剰余金	△208,392	△82,598
自己株式	△2,022	△2,049
株主資本合計	3,014,411	3,140,177
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	78,665	84,941
その他の包括利益累計額合計	78,665	84,941
少数株主持分	228,152	225,456
純資産合計	3,321,229	3,450,575
負債純資産合計	4,079,463	4,454,172

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
売上高		
売上高	534,711	731,701
不動産事業収益	374,617	274,224
売上高合計	909,329	1,005,926
売上原価		
売上原価	403,028	552,454
不動産事業売上原価	186,580	69,477
売上原価合計	589,609	621,931
売上総利益	319,720	383,994
販売費及び一般管理費	306,630	300,188
営業利益	13,089	83,805
営業外収益		
受取利息	222	148
貸付金利息	52,167	49,695
受取配当金	10	12
その他	16,523	12,530
営業外収益合計	68,924	62,386
営業外費用		
支払利息	523	4,623
有償見本費用	7,883	2,382
減価償却費	1,700	2,660
その他	782	1,442
営業外費用合計	10,889	11,109
経常利益	71,124	135,082
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,884	－
固定資産売却益	－	419
負ののれん発生益	－	1,218
特別利益合計	2,884	1,637
特別損失		
前期損益修正損	831	－
固定資産除却損	2,612	108
減損損失	840	232
投資有価証券売却損	22	－
投資有価証券評価損	1,297	－
事務所移転費用	700	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	186	－
特別損失合計	6,490	340
税金等調整前当期純利益	67,517	136,379
法人税、住民税及び事業税	5,874	6,976
法人税等調整額	△340	725
法人税等合計	5,534	7,702
少数株主損益調整前当期純利益	61,983	128,677
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△2,613	3,021
当期純利益	64,596	125,655

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主損益調整前当期純利益	61,983	128,677
その他の包括利益		
土地再評価差額金	－	6,425
その他の包括利益合計	－	6,425
包括利益	61,983	135,102
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	64,596	132,080
少数株主に係る包括利益	△2,613	3,021

（３）連結株主資本等変動計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
株主資本		
資本金		
当期首残高	3,224,825	3,224,825
当期変動額		
当期変動額合計	－	－
当期末残高	3,224,825	3,224,825
利益剰余金		
当期首残高	△273,489	△208,392
当期変動額		
当期純利益	64,596	125,655
土地再評価差額金の取崩	499	138
当期変動額合計	65,096	125,793
当期末残高	△208,392	△82,598
自己株式		
当期首残高	△2,008	△2,022
当期変動額		
自己株式の取得	△13	△27
当期変動額合計	△13	△27
当期末残高	△2,022	△2,049
株主資本合計		
当期首残高	2,949,328	3,014,411
当期変動額		
当期純利益	64,596	125,655
自己株式の取得	△13	△27
土地再評価差額金の取崩	499	138
当期変動額合計	65,083	125,766
当期末残高	3,014,411	3,140,177
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金		
当期首残高	79,165	78,665
当期変動額		
土地再評価差額金の取崩	△499	△138
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	－	6,414
当期変動額合計	△499	6,276
当期末残高	78,665	84,941
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	79,165	78,665
当期変動額		
土地再評価差額金の取崩	△499	△138
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	－	6,414
当期変動額合計	△499	6,276
当期末残高	78,665	84,941

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主持分		
当期首残高	―	228,152
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	228,152	△2,696
当期変動額合計	228,152	△2,696
当期末残高	228,152	225,456
純資産合計		
当期首残高	3,028,493	3,321,229
当期変動額		
当期純利益	64,596	125,655
自己株式の取得	△13	△27
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	228,152	3,717
当期変動額合計	292,735	129,345
当期末残高	3,321,229	3,450,575

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	67,517	136,379
減価償却費	47,094	44,117
減損損失	840	232
のれん償却額	2,340	4,681
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9,446	1,176
受取利息及び受取配当金	△52,400	△49,855
支払利息	－	4,623
長期前払費用償却額	4,958	2,479
投資有価証券評価損益（△は益）	1,297	－
投資有価証券売却損益（△は益）	22	－
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△419
有形固定資産除却損	1,333	108
無形固定資産除却損	1,279	－
負ののれん発生益	－	△1,218
売上債権の増減額（△は増加）	48,727	△25,707
たな卸資産の増減額（△は増加）	58,265	△2,405
仕入債務の増減額（△は減少）	△26,541	△2,470
未払消費税等の増減額（△は減少）	△5,740	9,685
長期預り金の増減額（△は減少）	△25,036	△42,736
その他の資産の増減額（△は増加）	946	△2,842
その他の負債の増減額（△は減少）	△14,778	27,450
小計	100,679	103,279
利息及び配当金の受取額	52,935	49,823
利息の支払額	－	△4,493
法人税等の還付額	443	－
法人税等の支払額	△1,011	△7,412
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,046	141,197
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,582	△551,756
有形固定資産の売却による収入	－	419
無形固定資産の取得による支出	－	△550
差入保証金の差入による支出	△300	△30
差入保証金の回収による収入	1,970	－
投資有価証券の売却による収入	430	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△213,616	－
子会社株式の取得による支出	－	△4,500
貸付けによる支出	△32,485	△500,000
貸付金の回収による収入	249,719	514,118
出資金の払込による支出	△30	－
その他	30	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△863	△542,298
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	50,000	－
短期借入金の返済による支出	△15,000	△35,000
長期借入れによる収入	－	300,000
長期借入金の返済による支出	△2,502	△11,684
リース債務の返済による支出	－	△746
自己株式の取得による支出	△13	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,484	252,542
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	184,666	△148,559
現金及び現金同等物の期首残高	700,942	885,609
現金及び現金同等物の期末残高	885,609	737,050

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 追加情報
（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）
当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。
なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当連結会計年度の「貸倒引当金戻入額」は、「営業外収益」に計上しておりますが、前連結会計年度については遡及処理を行っておりません。

（法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正）
「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月２日に公布され、平成24年４月１日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.50％から平成24年４月１日に開始する連結会計年度から平成26年４月１日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.01％に、平成27年４月１日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、35.64％となります。この税率変更により、繰延税金負債は106千円減少し、法人税等調整額は106千円減少しております。
また、再評価に係る繰延税金負債は6,425千円減少し、土地再評価差額金は6,425千円増加しております。

(7)連結財務諸表に関する注記事項
（セグメント情報等）
ａ．セグメント情報
１．報告セグメントの概要
当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。
当社は事業持株会社であり、当社主導のもと、グループ全体の経営の効率化を図るとともに、製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門の権限と責任を明確化することで経営の自由度を高め、独自性を発揮して当社グループを発展させる体制を目指しております。
したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「不動産事業」、「繊維事業」、「化粧品事業」及び「ゴルフ場事業」の４つを報告セグメントとしております。
「不動産事業」は当社がテナントビルの賃貸、不動産の売買・仲介、駐車場の運営（時間貸し）を行っております。「繊維事業」は日本レース㈱繊維部門が刺繍レースを中心に企画し、仕入れて販売しております。「化粧品事業」は日本レース㈱化粧品部門が化粧品、医薬部外品等を製造し販売しております。「ゴルフ場事業」は伊豆スカイラインカントリー㈱がゴルフ場を経営しております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法
報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。
報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。
セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自平成22年４月１日 至平成23年３月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	
売上高					
外部顧客への売上高	374,617	67,242	320,745	146,724	909,329
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	40	－	40
計	374,617	67,242	320,785	146,724	909,369
セグメント利益又は損失（△）	182,119	△9,111	△6,173	△3,216	163,617
セグメント資産	1,585,636	45,220	191,606	973,988	2,796,451
その他の項目					
減価償却費	8,182	499	12,633	16,040	37,356
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,507	173	4,281	885,182	892,145

当連結会計年度（自平成23年４月１日 至平成24年３月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	
売上高					
外部顧客への売上高	274,224	67,331	362,808	301,560	1,005,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	274,224	67,331	362,808	301,560	1,005,926
セグメント利益又は損失（△）	201,008	△194	12,961	13,691	227,467
セグメント資産	2,119,355	62,427	182,201	962,901	3,326,886
その他の項目					
減価償却費	7,574	254	11,160	21,296	40,286
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	537,694	－	12,736	8,862	559,293

４．報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	163,617	227,467
のれんの償却額	△2,340	△4,681
全社費用（注）	△148,187	△138,981
連結財務諸表の営業利益	13,089	83,805

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,796,451	3,326,886
全社資産（注）	1,283,011	1,127,286
連結財務諸表の資産合計	4,079,463	4,454,172

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門の資産であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	37,356	40,286	8,652	3,893	46,009	44,179
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	892,145	559,293	－	－	892,145	22,924

b．関連情報

前連結会計年度（自平成22年４月１日　至平成23年３月31日）

１．製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

３．主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高（千円）	関連するセグメント名
㈱ビーライフ	111,793	不動産事業

当連結会計年度（自平成23年４月１日　至平成24年３月31日）

１．製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

３．主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高（千円）	関連するセグメント名
㈱ビーライフ	154,457	不動産事業

c．報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自平成22年４月１日　至平成23年３月31日）

	不動産（千円）	繊維（千円）	化粧品（千円）	ゴルフ場（千円）	全社・消去（千円）	合計（千円）
減損損失	－	－	－	－	840	840

当連結会計年度（自平成23年４月１日　至平成24年３月31日）

	不動産（千円）	繊維（千円）	化粧品（千円）	ゴルフ場（千円）	全社・消去（千円）	合計（千円）
減損損失	－	－	－	－	232	232

ｄ．報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自平成22年４月１日　至平成23年３月31日）

	不動産（千円）	繊維（千円）	化粧品（千円）	ゴルフ場（千円）	合計（千円）
当期償却額	－	－	－	2,340	2,340
当期末残高	－	－	－	21,064	21,064

当連結会計年度（自平成23年４月１日　至平成24年３月31日）

	不動産（千円）	繊維（千円）	化粧品（千円）	ゴルフ場（千円）	合計（千円）
当期償却額	－	－	－	4,681	4,681
当期末残高	－	－	－	16,383	16,383

ｅ．報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自平成22年４月１日　至平成23年３月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成23年４月１日　至平成24年３月31日）

ゴルフ場事業において平成23年５月31日に、子会社である伊豆スカイラインカントリー株式会社の株式を追加取得したため、1,218千円の負ののれん発生益を計上しております。

（１株当たり情報）

前連結会計年度（自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度（自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
１株当たり純資産額　43円47銭	１株当たり純資産額　45円33銭
１株当たり当期純利益金額　91銭	１株当たり当期純利益金額　１円77銭
なお、潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（注）１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度（自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度（自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
当期純利益（千円）	64,596	125,655
普通株主に帰属しない金額	－	－
普通株式に係る当期純利益（千円）	64,596	125,655
期中平均株式数（株）	71,147,044	71,146,238

（重要な後発事象）

当連結会計年度（自平成23年４月１日　至平成24年３月31日）

該当事項はありません。

５．個別財務諸表
（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当事業年度 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	762,436	621,697
売掛金	731	1,238
販売用不動産	299,624	303,212
貯蔵品	58	63
前渡金	2,043	1,148
前払費用	1,964	1,900
関係会社短期貸付金	262,443	230,000
その他	6,694	15,759
流動資産合計	1,335,996	1,175,021
固定資産		
有形固定資産		
建物	351,394	351,394
減価償却累計額	△217,541	△228,648
建物（純額）	133,853	122,746
構築物	23,754	23,754
減価償却累計額	△23,260	△23,488
構築物（純額）	494	265
機械及び装置	59,972	59,972
減価償却累計額	△47,842	△51,708
機械及び装置（純額）	12,130	8,263
車両運搬具	1,633	1,008
減価償却累計額	△1,452	△914
車両運搬具（純額）	181	94
工具、器具及び備品	3,811	3,811
減価償却累計額	△3,059	△3,608
工具、器具及び備品（純額）	751	202
土地	1,220,224	1,756,361
建設仮勘定	－	1,325
有形固定資産合計	1,367,634	1,889,261
無形固定資産		
借地権	129,024	129,024
電話加入権	1,776	1,776
無形固定資産合計	130,800	130,800
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
関係会社株式	544,561	549,061
出資金	60	60
破産更生債権等	57,404	57,404
長期前払費用	12	3
その他	2,225	2,255
貸倒引当金	△57,404	△57,404
投資その他の資産合計	547,458	551,979
固定資産合計	2,045,893	2,572,041
資産合計	3,381,890	3,747,063

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当事業年度 （平成24年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,000	2,000
1年内返済予定の長期借入金	－	20,040
短期借入金	35,000	－
未払金	4,503	13,986
未払費用	1,717	1,640
未払法人税等	6,258	5,504
前受金	6,374	13,417
預り金	712	20,289
その他	3,330	3,896
流動負債合計	59,898	80,773
固定負債		
長期借入金	－	273,280
再評価に係る繰延税金負債	53,545	47,037
長期預り金	124,898	105,712
その他	10,000	－
固定負債合計	188,444	426,030
負債合計	248,342	506,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,224,825	3,224,825
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△167,921	△67,459
利益剰余金合計	△167,921	△67,459
自己株式	△2,022	△2,049
株主資本合計	3,054,882	3,155,317
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	78,665	84,941
評価・換算差額等合計	78,665	84,941
純資産合計	3,133,548	3,240,259
負債純資産合計	3,381,890	3,747,063

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当事業年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
売上高		
不動産事業収益	374,617	274,224
経営指導料	5,898	10,596
売上高合計	380,515	284,820
売上原価		
不動産事業売上原価	186,580	69,477
売上原価合計	186,580	69,477
売上総利益	193,934	215,343
販売費及び一般管理費		
役員報酬	29,880	29,400
給料	22,724	21,121
賃借料	7,096	7,213
諸会費・手数料	45,420	45,522
厚生費	7,732	8,161
租税公課	10,867	10,188
減価償却費	6,451	1,548
その他	17,933	14,078
販売費及び一般管理費合計	148,108	137,234
営業利益	45,826	78,109
営業外収益		
受取利息	242	120
貸付金利息	7,733	8,639
固定資産賃貸料	7,530	6,600
受取手数料	1,200	1,200
受取家賃	3,771	3,738
その他	821	2,457
営業外収益合計	21,298	22,755
営業外費用		
支払利息	249	3,881
貸付資産関連費	8,647	4,676
減価償却費	1,700	2,660
その他	823	－
営業外費用合計	11,420	11,218
経常利益	55,704	89,646
特別損失		
固定資産除却損	1,528	29
減損損失	840	232
特別損失合計	2,368	261
税引前当期純利益	53,336	89,384
法人税、住民税及び事業税	△3,480	△10,845
法人税等調整額	△340	△93
法人税等合計	△3,820	△10,939
当期純利益	57,157	100,323

（３）株主資本等変動計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当事業年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
株主資本		
資本金		
当期首残高	3,224,825	3,224,825
当期変動額		
当期変動額合計	－	－
当期末残高	3,224,825	3,224,825
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	△225,578	△167,921
当期変動額		
当期純利益	57,157	100,323
土地再評価差額金の取崩	499	138
当期変動額合計	57,657	100,461
当期末残高	△167,921	△67,459
自己株式		
当期首残高	△2,008	△2,022
当期変動額		
自己株式の取得	△13	△27
当期変動額合計	△13	△27
当期末残高	△2,022	△2,049
株主資本合計		
当期首残高	2,997,238	3,054,882
当期変動額		
当期純利益	57,157	100,323
自己株式の取得	△13	△27
土地再評価差額金の取崩	499	138
当期変動額合計	57,643	100,434
当期末残高	3,054,882	3,155,317
評価・換算差額等		
土地再評価差額金		
当期首残高	79,165	78,665
当期変動額		
土地再評価差額金の取崩	△499	△138
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	－	6,414
当期変動額合計	△499	6,276
当期末残高	78,665	84,941
純資産合計		
当期首残高	3,076,404	3,133,548
当期変動額		
当期純利益	57,157	100,323
自己株式の取得	△13	△27
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	－	6,414
当期変動額合計	57,143	106,710
当期末残高	3,133,548	3,240,259